



3 常任委員会「調査研究レポート」

活発化する取組をピックアップ

令和6年9月～令和7年6月の所管事務調査も町が抱える諸課題の解決に向けて様々な視点や手法で励みましたが、また、これまでのアクションを振り返り、さらに充実した取組につなげていきます。



【経済建設常任委員会・厚生文教常任委員会】

研究テーマ 若年女性が求める就業機会の創出と労働参加につながる環境整備

【先進地視察】

日時 令和6年10月21日(月)～22日(火)

場所 静岡県長泉町、山梨県忍野村

出席委員 経済建設常任委員会：稲村穰治委員長、田端良成副委員長
山口勝土、大戸久一、田中照子 各委員

厚生文教常任委員会：高瀬 勉委員長、鈴木秀尚副委員長
島崎隆夫、笠原英彦、田中立男 各委員

【調査研究のまとめ】

先進地視察や、関係課との勉強会・若年女性等へのヒアリングを通じて、消滅可能性自治体からの脱却と「若年女性に選ばれるまちづくり」について知見を深めた。いずれの地においても、官民問わず、仕事と育児の両立を支える様々なサービスが、子育て家庭を呼び込む重要な要素となっている。

現在、町は子育て総合センター「ココット」を拠点に、妊娠期から切れ目のない支援体制を構築しているところだが、ニーズの高まりや多様化に触れ、さらなる子育て支援の拡充や質の向上が求められている。

これまで以上に、人口の自然減及び社会減対策を強化する中で、リニューアルオープンを迎えた「道の駅おがわまち」をPR拠点とし、当町が有する地域資源やポテンシャルを最大限に生かした「サステナブルかつスマートなまちづくりの推進」を期待する。



若年女性に選ばれる町の取組に触れる

【総務常任委員会】

研究テーマ

デジタルによる持続可能なまちづくり

【先進地視察】

日時 令和6年11月11日(月)～12日(火)

場所 静岡県小山町、静岡県地震防災センター（静岡市）

出席委員 高橋さゆり委員長、五十嵐康博副委員長
笠原規弘、高橋功人、関根慶則、岡部久志 各委員

【調査研究のまとめ】

先進地視察を含め3回の委員会、2回の勉強会を実施した。

これらの調査結果を踏まえ、デジタル導入の検討と並行して既存業務の見直しや考え方の変革が必要である。重要なことは「町はどのように変革したいのか」「どのようなデジタルサービスが住民福祉の向上につながるのか」という徹底した住民目線と、職員の労働環境改善に資することを前提とし、その成果として創出された時間をさらなる町民サービスの向上につなげていく必要がある。現状維持に固執することなく「誰一人取り残さない」との信念を持ちデジタルによる持続可能なまちづくりと、町民一人一人の利便性向上を目指した住民サービスの実現を切に望む。



先進的な「DX人材の育成」を視察

今回の調査研究で得られた知見を活かし、DXに向けた取組を、議会としても積極的に推進していきたい。



国史跡指定から10年。「保存活用」を確認



部活動の「現状」を見学



試行中の路線バス登校に同乗



社会福祉協議会の役割と重要性を共有



「普通救命講習I」を全議員で取得